

コロナ第8波 7割強が「不安感じる」 毎日新聞世論調査

2022. 11. 22 毎日新聞



毎日新聞が19、20両日に実施した全国世論調査で、政府の新型コロナウイルス対策について聞いた。感染「第8波」に入ったとみられるが、この冬の感染拡大に不安を感じるかとの問いでは、「強い不安を感じる」は23%、「ある程度の不安は感じる」は48%で、合わせて7割強が不安を感じると答えた。「あまり不安は感じない」は20%、「全く不安は感じない」は8%で、合わせて3割弱が不安は感じないと回答した。

年代別に見ると、18～29歳は「不安は感じない」が「不安を感じる」より多かったが、30代以上では「不安を感じる」が「不安は感じない」を上回った。「不安を感じる」は年代が上がるほど増え、60代以上は8割を超えた。

新型コロナウイルスのこの冬の感染拡大に不安を感じるか

オミクロン株対応のワクチン接種を受けたか尋ねたところ、「受けた」は36%、「受けたいと思う」は38%だったが、「受けるつもりはない」は20%に上った。感染拡大に「不安を感じる」と回答した層でも14%が「受けるつもりはない」と答えた。

新型コロナのワクチン接種費用は現在、全額国費で負担している。政府内でワクチンの無料接種を見直す検討をしていることを巡っては、「無料接種を続けるべきだ」は60%に上り、「有料にしてもよい」は26%、「どちらとも言えない」は13%

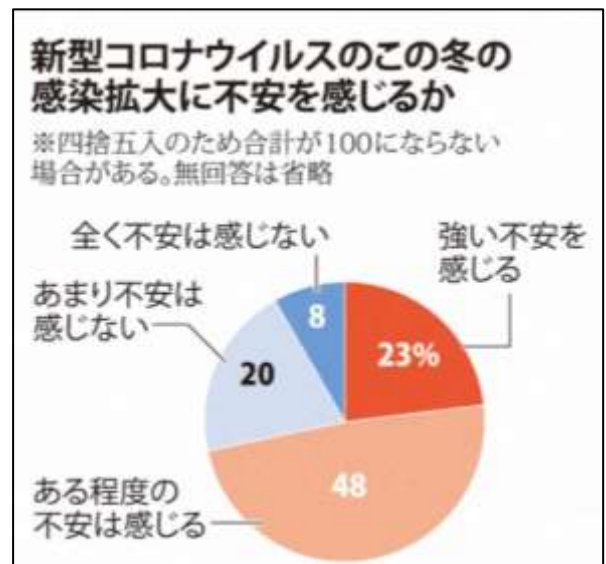
だった。財務省は新型コロナワクチンについては、季節性インフルエンザなどと同様に、接種希望者が費用の一部を負担する「定期接種」に移行すべきだと主張している。

岸田政権の新型コロナ対策を評価するかについては、「評価する」は24%で、10月22、23日の前回調査の26%から横ばい。「評価しない」は53%で5ポイント増えた。

マスク「着用続けたい」53%

新型コロナウイルス対策のマスク着用をどう思うかについても質問した。「これからも着用を続けたい」は53%、「そろそろ外す機会を増やしたい」は43%だった。「マスクはしていない」は3%だった。

この冬の感染拡大に「不安を感じる」と回答した層では、66%が「着用を続けたい」と答えたのに対し、「不安は感じない」と回答した層では、69%が「外す機会を増やしたい」と答えた。



政府は今年 5 月にマスク着用に関する見解を発表。屋外は、周りの人と 2 メートル以上を目安に距離が取れば、会話の有無を問わずマスクは不要だが、距離が取れずに会話する場合は必要となる。屋内は、距離が取れて会話しない場合は不要だが、距離が取れない、または会話する場合は必要だとした。【伊藤奈々恵】